

宮崎県・青森県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜確認！ (家きん国内12・13例目)

【概要】

- ・12例目：宮崎県新富町 採卵鶏 約16万羽
- ・13例目：青森県横浜町 肉用鶏 約12.2万羽
易学関連施設 青森県横浜町 1施設 約0.8万羽
簡易検査および遺伝子検査で陽性。
高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<今年は例年以上の発生が懸念されます>

※渡り鳥が飛来するこの時期は全国的にウイルスが持ち込まれる可能性が高く、全国いずれの地域においても発生リスクがあります。

<農場周囲への消石灰散布>

※鶏舎周辺及び農場敷地周縁へ定期的に2～3m幅で消石灰を散布しましょう。
また、農場内道路にも消石灰等を散布しましょう。

※消石灰散布の効果

- ①高病原性鳥インフルエンザウイルスに対する消毒効果。
- ②ネズミなどの野生動物に忌避効果(いやがって近寄らない)
- ③ネズミなどの野生動物が侵入したかどうか、またどこから侵入したのが足跡等でわかりやすくなる。

◇早期発見・早期通報

◇家きん飼養農場の防鳥ネットの再確認、家きん舎の穴等の再点検

◇ウイルスの人・車両又は野鳥を含む野生動物を介した

農場内及び家きん舎内への侵入防止対策の徹底

◇農場周辺の消石灰散布など消毒の徹底

◇農場内における手指や長靴の消毒

◇適切に消毒効果を得られるよう毎日また汚れた都度消毒薬の交換、

消毒前の長靴の洗浄等を実施

鳥インフルエンザの情報を掲載した農林水産省ウェブサイト：<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

異状をみつけた場合には直ちに山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話…0551-22-0771 FAX…0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は…090-5564-1018